

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」 提言へ賛同

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:喜多村 円)は、金融安定理事会(FSB)が設置した「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同しました。

TOTOグループは中期経営計画「TOTO WILL2022」とともに、その推進エンジンとなる「TOTOグローバル環境ビジョン」を策定しています。「TOTOグローバル環境ビジョン」の推進を強化し、経営とCSRのさらなる一本化を図り、企業価値向上を目指します。

気候変動は、TOTOグループの重要課題と認識しており、長期の視点で脱炭素社会の構築に貢献していきます。

「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」について

TCFDは「Task Force on Climate-related Financial Disclosures」の略で、主要国の中央銀行や金融規制当局などが参加する国際機関である金融安定理事会(FSB)によって2015年12月に設立されたタスクフォースです。
TCFD公式サイト(英語): <https://www.fsb-tcf.org/>



「TOTO グローバル環境ビジョン」について

TOTOグループでは、CSR活動「TOTOグローバル環境ビジョン」を策定し、3つのテーマ「きれいと快適」、「環境」、「人とのつながり」に取り組んでいます。「環境」については、「水を大切に」「温暖化を防ぐ」「地域社会のために」のメッセージのもと、さまざまなアクションを進めています。

TOTOグローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

私たちTOTOグループは、水まわりから環境に貢献するために、「グローバル環境ビジョン」を掲げ、節水や省エネなどさまざまな取り組みを続けています。環境にやさしいものづくりを行い、きれいで快適な暮らしを世界に届け、人とのつながりを大切に活動してまいります。水と地球の、あしたのために。これからも、持続可能な社会を目指して、TOTOグループ全員の力で、実現していきます。

[URL] <https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

